阪神高速パトロール

ヘルス＆セイフティーレポート 2023

■ 2023 年度 阪神高速グループ スローガン

先進の道路サービスへ　－ 明るく 楽しく 一歩前進 －

■ 経営理念

阪神高速パトロールは、最高レベルの交通管理技術で、お客さまの安全・安心・快適を守り、交通管理を通じて関西経済の発展と持続可能な社会の実現に貢献いたします。

■ 健康指針

当社の経営理念である「安全、安心、快適な高速道路の提供に向けて」の実現のためには、社員が健康であることが何よりも大切です。

全ての社員が能力を最大限発揮し、安全で活き活きと働くことができるよう、会社一体となって、各種法令等の遵守、プライバシーの保護に十分配慮し、以下の指針に沿った、健康の保持増進に向けた積極的な取り組みを推進してまいります。

1　健康増進施策の推進

会社は、社員の健康の保持増進を図るため必要な施策を継続的かつ計画的に講じ、社員は、自らも健康に対する意識を高め自身の健康の保持増進に努めるものとします。

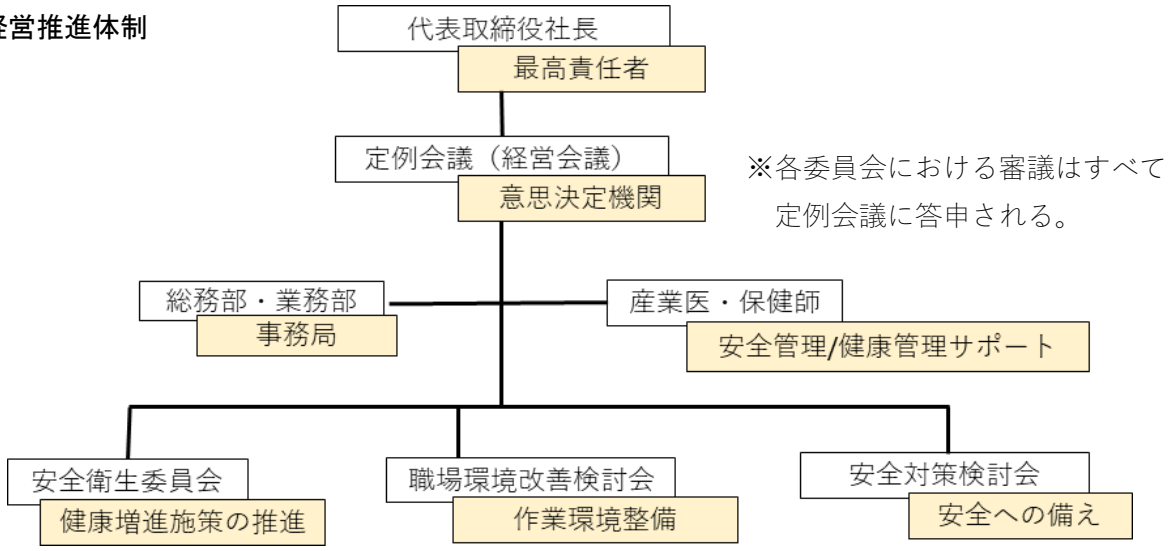
2　作業環境整備への取り組み

会社は、社員が安全で活き活きと働きやすい職場環境の整備に向けた積極的な取り組みを行い、社員は、自らも積極的な改善を提案することで、より質の高い職場環境を構築していきます。

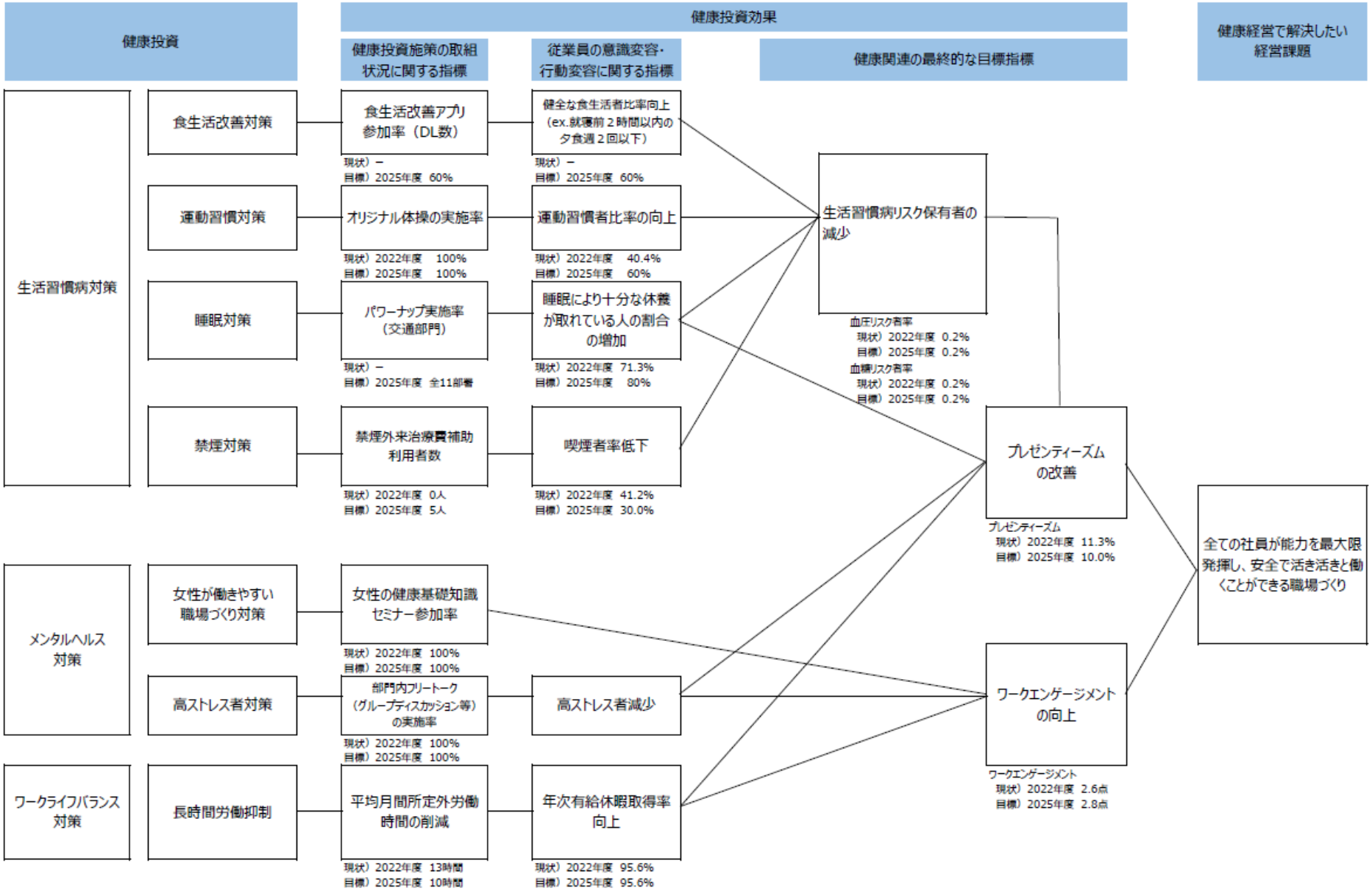
3　安全への備え

会社は、労働災害の防止に向けた積極的な取り組みを行い、社員は、各種法令等の遵守並びにマニュアルの基本動作を着実に実行することで、事故ゼロを目指します。

■ 健康経営推進体制



■ 戦略マップ ビジョン 2025



■　健康経営の普及活動

社内報への掲載（グループ内閲覧可能）及び、経営計画報告会でのアナウンスを行う

■　主な取り組み：2022 年度

1　健康増進施策の推進

（1）　定期健康診断・特定健康診断の実施と検査項目の拡充（HbA1c 及び眼底・眼圧検査を項目追加）

（2）　本項（1）（4）（5）（7）を一元管理（進捗、記録保存、統計分析）できるシステムを導入

（3）　人間ドックの推進（胃がん・大腸がん検診の健康診断への組み入れ、ほか費用補助）

（4）　ライフスタイル調査を実施（健康意識,労働生産性,働きが嫌エンゲージメントをスコア化）

（5）　ストレスチェックの実施

（6）　産業医・保健師による健康管理サポート（メンタル/フィジカル含む）

（ア）　産業医による関与（安全衛生委員会への参加/ストレスチェック実施/就業判定/面談）

（イ）　保健師による関与（職場巡視/保健教育（生活習慣病・禁煙等）/保健指導/面談）

（7）　女性に特化した健康管理の実施（保健師面談（全女性社員）・セミナー実施（全女性社員）・婦人科検診の費用補助・管理職研修（セミナーと同じ内容を実施））

（8）　「協会けんぽ」との連携（データ共有、特定保健指導（受診必須））

（9）　キャリアサポート体制の活用（社内キャリアコンサルタントによる面談/研修）

（10）　弊社オリジナル体操の実施（職場単位で始業時に実施）

（11）　体力測定の実施（職場単位で年２回実施）

（12）　年間休日数の増加（2021 年より 2 年間実施 120 日/年→122 日/年）

（13）　年次有給休暇や特別休暇の取得/ノー残業デー等による QOL の向上（余暇の充実等）

（14）　福利厚生にて医療費ほかワークライフ向上メニューの費用補助

（15）　安全衛生委員会にて本項の内容ほか、感染症対策を含め審議し全社員へ周知

（16）　「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、産業医監修のもと、ウイルスの飛沫・接触等の感染を防止する対策品の導入ほか、社員へ正確な知識や意識を高める等の広報による予防対策を実施

2　作業環境整備への取り組み

（1）　各種アセスメントの実施と活用（ハラスメント防止/職場環境の実態把握、ほか教育研修等）

（2）　社内相談窓口を設置（メンタルヘルス・ハラスメント・キャリア）

（3）　社外相談窓口を設置（外部 EAP：メンタルヘルス・ハラスメント）

（4）　女性活躍推進（各部署に女性専用区画を新設・整備）

（5）　職場環境改善検討会を実施（各種アセスメント結果を分析・検討）

（6）　職場環境改善検討会及び各部会にて本項の内容を調査・審議し、経営会議へ報告する

3　安全への備え

（1）　KYT や各種研修を通して安全・危機管理能力を養い、基本動作の着実な実行を確認

（2）　安全対策検討会による安全装備の調査・開発

（3）　安全対策検討会及び安全管理室にて本項の内容を調査・審議し、経営会議へ報告する

■ 健康増進施策の推進に係る評価（ヘルスリテラシー関連指標）

	項目	従業員の健康状態				補足
		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
基本情報	従業員数	人	365	366	366	
健診・精密検査	一般定期健康診断受診率	%	100	100	100	
	特定健康診断受診率	%	100	100	100	
	保健指導実施率（全社員が対象）	%	100	100	100	
生活習慣病リスク該当者	適正体重維持者率	%	61	66.2	68.5	
	喫煙率	%	43	40.0	41.2	
	運動習慣者比率	%	48.0	41.4	40.4	
	睡眠により十分な休養が取れている人	%	76	68.5	71.3	
	健全な食生活者率（朝食）	%	70.1	65.3	70.7	
	血圧リスク者（参考）（180mmH g以上or 110mmHg以上）	%	3	1.9	0.2	
	血糖リスク者（参考）（200mg/dl以上）	%	0	1	0.2	
	糖尿病管理不良者率（HbA1c≧8.0%）	%	0	0.4	0.5	
	高血圧により治療中の割合	%	92.9	81.1	91.9	
	高血圧治療中で血圧がコントロールされている人の割合 ※収縮期血圧140mmhg未満＆拡張期血圧90mmhg未満	%	67.9	51.4	67.6	
	高血圧だが未治療の人の割合 ※収縮期血圧160mmhg以上＆拡張期血圧100mmhg以上	%	0.5	1.9	0.8	
医療費増加抑制	一人当たりの年間医療費（参考）	円	125,256	112,306	124,117	
ストレス対策	ストレスチェック受検率	%	100	100	86.7	
労働生産性 働きがいや エンゲージメント	アブセンティーイズム	日	-	-	5.97	代替計測として欠勤日数から算出
	プレゼンティーイズム	%	-	-	11.35	相対的プレゼンティーズム損失割合
	ヘルスリテラシー値	点	-	-	3.58	従業員アンケート調査（CCHL）にて測定した5項目の平均得点から算出（5点中）
	ワーク・エンゲージメント	点	2.64	2.59	2.58	従業員アンケート調査（4点中）

※ｱﾌﾞｾﾝﾃｨｰｲｽﾞﾑ、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｨｰｲｽﾞﾑ、ﾍﾙｽﾘﾃﾗｼｰ値の測定は全社員を対象に回答率 95.8%である。

※ﾜｰｸ・ｴﾝｹﾞｰｼﾞﾒﾝﾄの測定はｽﾄﾚｽﾁｪｯｸにて実施のため回答率 86.7%である。

＜実績一例＞

上記健康状態への維持・予防並びに、改善のための取組例

◈保健師による生活習慣病・禁煙等の保健教育

◈労働災害防止/運動習慣の動機付け

■　作業環境整備への取り組みに係る評価（労働災害防止に直接関係する項目）

項目	実績	内容
職場環境の実態把握	ー	平成 25 年よりストレスチェックほか、職場の実態を把握するためのアンケートを行い、結果を部会（写真 A）にて集団分析し、作業環境整備への施策に展開する（写真 B）
社内・社外 相談窓口を設置	ー	平成 25 年よりメンタルヘルス・ハラスメント・キャリア等に関する社員の不安や悩みの相談窓口（社内/社外）を設置運用する また、改正労働施策総合推進法（令２年６月１日付）に基づき、対策の更なる強化として外部 EAP によるハラスメント相談窓口を設置する

＜実績一例＞

◈写真 A：職場環境改善検討会開催状況

◈写真 B:女性専用区画の設置

■　安全への備えに係る評価（労働災害防止に直接関係する項目：2022 年度実績を記載（前年比））

項目	実績	内容
・KYT 活動 ・事案検討会	218 回/年 37 回/年	職場毎に、作業の中に潜む危険要因を発見・把握・解決する KYT を実施するとともに、事案処理検討会における作業効率向上訓練を行い、社員の安全・危機管理能力を養う（写真 C）
安全装備の調査・開発	2 回/年 （-10 回）	部会にて「現場の声」を収集・分析し、リスク低減措置につなげる装備等の開発を実施する（写真 D）
サプライチェーンとの情報共有	1 回/年	健康経営に係る健康増進施策の紹介を通じて作業性＝安全性との共通認識を図り、更なる改良や新規商品提案に向けての礎とする。（写真 D）

＜実績一例＞

◈写真 C：KYT 開催状況

◈写真 D：制服の新調_作業性と視認性の向上

道路パトロール隊員用　　交通管制員用

■　外部からの評価

- 2017 年度 全国ＴＨＰ推進協議会表彰『優良賞』受賞
- 健康経営優良法人 2023 認定（5 年連続）
- スポーツエールカンパニー2023 認定（3 年連続）
- 第 16 回　大阪府無事故・無違反チャレンジコンテスト【金賞』受賞

◈全国ＴＨＰ推進協議会表彰

◈ロゴマーク

2023
健康経営優良法人
Health and productivity

◈ロゴマーク

SPORTS
YELL
COMPANY
2023

■　行動計画

健康増進施策の推進、作業環境整備への取り組み、安全への備え等の健康経営施策の更なる推進を図り、社員が安全で活き活きと働くことができるよう、各種施策を進めてまいります。

＜重点取組事項＞

・　現在取り組んでいる健康管理施策の着実な実行
・　健康管理システムのデータを活用した施策の展開（ヘルスリテラシー向上に資する）
・　職場改善計画（働きやすい職場環境への取り組み）の実践
・　新型コロナ感染予防対策の継続

以　上